

南魚沼市自転車活用推進計画 【概要版】



1 はじめに

本計画は、令和8年度（2026年度）からの5年間における本市の自転車活用を総合的に推進するための計画である。

自転車の安全利用・健康増進・観光振興・地域交通としての役割を強化し、カーボンニュートラルに向けた持続可能な地域づくりを目指す。

2 南魚沼市と自転車

本市の現状から、5つの課題を定める。

3 基本目標

課題に対する5つの基本目標を定める。

4 目標達成のための具体施策

基本目標に対する、19の具体施策を定める。

5 計画目標の達成状況の評価

（1）計画の推進体制

本計画の推進及び進捗状況の管理は、「RIDE ON 南魚沼プロジェクト実行委員会」が行う。

（2）達成状況の評価

スケジュール管理、PDCAサイクルの実行及び目標指標による計画目標の達成状況の評価を行う。

【現状と課題】

課題1 安全で快適な自転車通行空間、ネットワーク整備の不足

市内全体で自転車が安全かつ円滑に通行できる空間が十分に確保されておらず、自転車利用者が安心して走行できるネットワーク構築が課題となっている。

課題2 走行ルール・マナー意識の不足と事故の懸念

歩行者・自転車・自動車それぞれの交通ルールやマナーに対する理解が十分でなく、交通事故のリスクが高まっている状況がみられる。

課題3 自動車利用への依存

- ・公共交通との連携不足で、日常利用が進んでいない。
- ・通勤・通学などの日常的な自転車利用が定着していない。

課題4 健康づくり・環境施策のための活用不足

自転車は手軽な運動や環境負荷の低減に寄与するが、市民の健康づくりやカーボンニュートラルの観点から見ると、自転車の活用がまだ十分に進んでいない。

課題5 観光資源としての活用不足

- ・豊かな自然環境を活かしたサイクリングの魅力をも十分に発信できておらず、観光としての自転車活用が進んでいない。
- ・地域資源と自転車を組み合わせた周遊促進の仕組みづくりが求められている。

【基本目標】

目標1 安全で快適な自転車ネットワークの整備等による良好な自転車利用環境の実現

雪国魚沼ゴールデンサイクルルートの整備を中心に、自転車通行空間の整備を進め、自転車利用を支える良好な環境の実現を目指す。

目標2 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

青切符制度の導入によるルール遵守意識の向上を踏まえ、安全意識・交通教育を強化する。歩行者・自転車・自動車が互いを理解し尊重し合う環境を整え、安心して利用できる交通社会と自転車事故ゼロを目指す。

目標3 自転車交通の役割拡大による地域の良好な移動環境の形成

誰もが移動しやすい環境に配慮しつつ、過度に自動車へ依存しない人と環境にやさしいまちづくりを進める。

目標4 自転車の利用促進による活力ある健康長寿社会や脱炭素社会の実現

- ・日常生活の移動手段やスポーツとして自転車利用を促進することにより、心身の健全な発達や市民の健康寿命の延伸を目指す。
- ・自転車利用を促進することにより、CO₂の削減に寄与し、カーボンニュートラルの実現に貢献する。

目標5 サイクルツーリズムの推進による観光地域づくりや地域の活性化

- ・雪国魚沼ゴールデンサイクルルートの整備・情報発信により、自転車を活用した新たな地域ブランドの創出し、サイクルツーリズム等の受け入れ環境整備、地域振興を図る。
- ・サイクルイベントの開催を通じた観光地域づくりを推進し、地域活性化を図る。

【具体施策】

- ① 雪国魚沼ゴールデンサイクルルートの整備と自転車ネットワークの構築
- ② 雪国魚沼ゴールデンサイクルルートへの案内看板の設置
- ③ 駐輪ニーズに応じ駐輪場の整備
- ④ 「自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村の会」への参画

- ⑤ 自転車の安全教育の推進
- ⑥ 通学路の安全点検の実施
- ⑦ 交通安全啓発活動の推進による道路利用者全体の安全意識の向上
- ⑧ 自転車損害賠償責任保険等への加入を推進

- ⑨ 自転車と地域の公共交通との連携促進
- ⑩ レンタサイクルの普及促進
- ⑪ サイクルステーション設置促進
- ⑫ 「自転車利用環境向上会議」への参画

- ⑬ 自転車を利用した健康づくりの推進
- ⑭ 自転車活用に関する情報発信
- ⑮ サイクルスポーツ・サイクルイベントの充実

- ⑯ 雪国魚沼ゴールデンサイクルルートの情報発信・受入れ態勢の強化
- ⑰ レンタサイクルの普及促進（再掲）
- ⑱ サイクルステーションの設置促進（再掲）
- ⑲ 自転車競技、サイクルイベントの振興を通じた地域活性化の推進

※各取組については、基本目標や具体施策を制限するものではなく、課題に対し広い視野で進める。